

カリキュラム・マップ

文学部の教育目的	
世界の多様な文学・言語・文化・歴史・思想・教育に関するテキストや人に触れることを通じて、幅広い人文的教養と深い人間理解に裏打ちされた主体的な批評精神をもって社会に貢献できる人を育てる。	

学修成果	
<p>【学部全体】</p> <p>「学士(文学)」を授与される学生は、以下のような能力を有する。</p> <p>① キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること「1. リベラルアーツの素養」「2. 専門性」「3. 自己を理解し発展させる力」「4. キャリア展望を確立する力」「5. 他者を理解する姿勢」「6. 表現力」「8. 国際性」「9. 社会的実践力」と関連</p> <p>② テキストを正確に読解できること「1. リベラルアーツの素養」「2. 専門性」「5. 他者を理解する姿勢」「6. 表現力」「8. 国際性」と関連</p> <p>③ テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること「1. リベラルアーツの素養」「2. 専門性」「3. 自己を理解し発展させる力」「6. 表現力」「8. 国際性」と関連</p> <p>④ 複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力を持つこと「1. リベラルアーツの素養」「2. 専門性」「5. 他者を理解する姿勢」「6. 表現力」「8. 国際性」と関連</p> <p>⑤ 他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと「1. リベラルアーツの素養」「2. 専門性」「3. 自己を理解し発展させる力」「5. 他者を理解する姿勢」「6. 表現力」「7. リーダーシップ」「8. 国際性」「9. 社会的実践力」と関連</p>	<p>教育学科では、教育学および教育事象について広く深い理解を持ち、研究方法と発想が身につく、とりわけ、教育学科教育学専攻課程では教育学の方法論について理解し、基礎的な研究方法と思考のしかたが身につけていること、教育学科初等教育課程では教育学について深い理解を持ち、小学校教員としての知識と技能を身につけることを目標とする。「1. リベラルアーツの素養」「2. 専門性」「3. 自己を理解し発展させる力」「4. キャリア展望を確立する力」「5. 他者を理解する姿勢」「6. 表現力」「7. リーダーシップ」「8. 国際性」「9. 社会的実践力」と関連</p>

文学部教育学科(初等教育専攻課程)のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	①キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること	②テキストを正確に読解できること	③テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること	④複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力を持つこと	⑤他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと	⑥教育学および教育事象について広く深い理解を持ち、研究方法と発想が身につくこと	⑦小学校教員としての知識と技能を身につけること
入門演習 J1	必修 (指定科目A1)	1	学生は教育学関係論文の講読を通して教育学の多様な領域に関して基礎的知識、技能を習得できる。		◎	◎	○	△	○	
入門演習 J2	必修 (指定科目A1)	1	学生は初歩的な教育学調査を行うことによって、教育学の多様な領域に関して基礎的知識、技能を習得できる。		○	○	○	○	○	
教育学	必修 (指定科目A1)	1	学生は教育にかかわる問題を批判的に吟味検討する力をつけ、教育学の学問領域の特徴を理解できるようになる。		○	○	○	○	◎	
教育心理学1	必修 (指定科目A1)	2	学生は障害を持った子どもを含む幼児・児童・生徒の発達と学習の過程について心理学的理解を深めることができる。					○	◎	
教育社会学1	必修 (指定科目A1)	2	学生は「教育」「学校」「子ども」「学歴社会」をめぐる諸問題について社会的視点からの理解を深めることができる。					○	◎	
教育史1	必修 (指定科目A1)	2	学生は日本における「近代学校」の歴史的性格を理解し、教育を歴史的に考察する方法を学習することができる。					○	◎	
教育哲学1	必修 (指定科目A1)	2	学生は教育哲学の基本的知識を習得し、教育の根源的な問題について哲学的に考察することができるようになる。					○	◎	
国語科教育法	必修 (指定科目A2)	3	学生は小学校の国語科教育に関する理論的・実践的諸問題を考察し、教材・教具の開発や指導計画から評価までの指導法について、その知識と技能を体験的に獲得することができる。				△		○	◎
社会科教育法	必修 (指定科目A2)	3	学生は小学校の社会科教育に関する理論的・実践的諸問題を考察し、教材・教具の開発や指導計画から評価までの指導法について、その知識と技能を体験的に獲得することができる。				△		○	◎
算数科教育法	必修 (指定科目A2)	3	学生は小学校の算数科教育に関する理論的・実践的諸問題を考察し、教材・教具の開発や指導計画から評価までの指導法について、その知識と技能を体験的に獲得することができる。				△		○	◎
理科教育法	必修 (指定科目A2)	3	学生は小学校の理科教育に関する理論的・実践的諸問題を考察し、教材・教具の開発や指導計画から評価までの指導法について、その知識と技能を体験的に獲得することができる。				△		○	◎
生活科教育法	必修 (指定科目A2)	3	学生は小学校の生活科教育に関する理論的・実践的諸問題を考察し、教材・教具の開発や指導計画から評価までの指導法について、その知識と技能を体験的に獲得することができる。				△		○	◎
家庭科教育法	必修 (指定科目A2)	3	学生は小学校の家庭科教育に関する理論的・実践的諸問題を考察し、教材・教具の開発や指導計画から評価までの指導法について、その知識と技能を体験的に獲得することができる。				△		○	◎
音楽科教育法	必修 (指定科目A2)	3	学生は小学校の音楽科教育に関する理論的・実践的諸問題を考察し、教材・教具の開発や指導計画から評価までの指導法について、その知識と技能を体験的に獲得することができる。				△		○	◎
図画工作科教育法	必修 (指定科目A2)	3	学生は小学校の図画工作科教育に関する理論的・実践的諸問題を考察し、教材・教具の開発や指導計画から評価までの指導法について、その知識と技能を体験的に獲得することができる。				△		○	◎
英語科教育法	必修 (指定科目A2)	3	学生は小学校の英語科に関する理論的・実践的諸問題を考察し、教材・教具の開発や指導計画から評価までの指導法について、その知識と技能を体験的に獲得することができる。				△		○	◎
体育科教育法	必修 (指定科目A2)	3	学生は小学校の体育科教育に関する理論的・実践的諸問題を考察し、教材・教具の開発や指導計画から評価までの指導法について、その知識と技能を体験的に獲得することができる。				△		○	◎

文学部教育学科(初等教育専攻課程)のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	①キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること	②テキストを正確に読解できること	③テキストについての自らの解釈を説理的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること	④複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力を持つこと	⑤他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと	⑥教育学および教育事象について広く深い理解を持ち、研究方法と発想が身につくこと	⑦小学校教員としての知識と技能を身につけること
教職実践演習(小学校)	必修 (指定科目A2)	4	学生は受講生全体による指導案作成や模擬授業、場面指導などの事例研究やそれらの具体的実践を通じて、教員としての基本的な資質と能力を身につけることができる。				△		○	◎
教職論	必修 (指定科目A2)	3	学生は「実践的指導力の養成」の考察を通じて、小学校教員の役割と意義を深く理解し、教職の専門性の基礎を身に付ける。				△		○	◎
初等教育実習	必修 (指定科目A2)	4	学生は、実際の教育実践を通じて、学校とそれを取り巻く状況、児童への理解を深め、教師としての力量形成の第一歩を歩むとともに、自らの教職への適性を見定めることができる。					◎	○	◎
音楽実技1	必修 (指定科目A2)	3	学生は読譜の基礎、歌伴奏など、小学校の指導実践に生かすための音楽理論と実技を習得することができる。				△		○	◎
音楽実技2	必修 (指定科目A2)	3	学生は読譜の基礎、さまざまな楽器の演奏、指揮法を基礎とした合唱・合奏など、小学校の指導実践に生かすための音楽理論と実技を習得することができる。				△		○	◎
造形表現 1	必修 (指定科目A2)	3	学生は水彩画による描画、木版画、各種デザイン作成など、主に平面表現における実習を通じて、小学校の指導実践に生かすための造形美術の基本的技術を習得することができる。				△		○	◎
造形表現 2	必修 (指定科目A2)	3	学生は粘土による彫塑、木材を使った工作など、主に立体表現における実習を通じて、小学校の指導実践に生かすための造形美術の基本的技術を習得することができる。				△		○	◎
体育実技	必修 (指定科目A2)	3・4	学生は小学校で実施される運動種目を実際に行うことにより、体育実技の理解と教授法を児童の発育・発達という観点から学習することができる。						○	◎
教育方法学	必修 (指定科目A2)	2~4	学生は学校における教育方法の理論と実践を学ぶことができる。				△		○	◎
教育課程論	必修 (指定科目A2)	2~4	学生は教育課程論の理論を学び、教育課程デザインのための知識や技能を身につけることができる。					○	○	◎
特別活動の理論と方法	必修 (指定科目A2)	2~4	学生は学校における特別活動の内容、目的、今日的課題について理論的側面と実践的側面の両方から学ぶことができる。				△	○	○	◎
総合的な学習の時間の理論と方法	必修 (指定科目A2)	2~4	学生は総合的な学習の時間の内容・目的・今日的課題について理論的側面と実践的側面の両方から学ぶことができる。				△	○	○	◎
ICT活用の理論と方法(小学校)	必修 (指定科目A2)	2~4	学生は情報通信技術を活用した小学校教育の理論と方法を学ぶことができる。				△	○	○	◎
特別支援教育の理論と方法	必修 (指定科目A2)	2~4	学生は特別支援教育の内容・目的・今日的課題について理論的側面と実践的側面の両方から学ぶことができる。				△	○	○	◎
生徒指導・進路指導	必修 (指定科目A2)	2~4	学生は生活指導と進路指導の内容、目的、今日的課題について理論的側面と実践的側面の両方から学ぶことができる。				△	○	○	◎
教育相談	必修 (指定科目A2)	2~4	学生は学校現場で教師に必要とされる児童生徒に対する教育相談のための基礎的知識を身に付けることができる。				△	○	○	◎
道徳教育の理論と方法	必修 (指定科目A2)	2~4	学生は道徳教育の理論と教育現場における指導について学習することができる。				△	○	○	◎
演習J1	選択 (指定科目B1)	3	学生は受講者全員による文献の読解と議論を通じて、文献検索、調査法、プレゼンテーション、討論、論文作成等の基礎的な研究技法を習得することができる。		◎	○	◎	○	◎	
演習J2	選択 (指定科目B1)	3	学生は受講者全員による文献の読解と議論を通じて、文献検索、調査法、プレゼンテーション、討論、論文作成等の基礎的な研究技法を習得することができる。		◎	○	◎	○	◎	
演習J3	選択 (指定科目B1)	3	学生は受講者全員による文献の読解と議論を通じて、文献検索、調査法、プレゼンテーション、討論、論文作成等の基礎的な研究技法を習得することができる。		◎	○	◎	○	◎	
演習J4	選択 (指定科目B1)	3	学生は受講者全員による文献の読解と議論を通じて、文献検索、調査法、プレゼンテーション、討論、論文作成等の基礎的な研究技法を習得することができる。		◎	○	◎	○	◎	
演習J5	選択 (指定科目B1)	3	学生は受講者全員による文献の読解と議論を通じて、文献検索、調査法、プレゼンテーション、討論、論文作成等の基礎的な研究技法を習得することができる。		◎	○	◎	○	◎	
演習J6	選択 (指定科目B1)	3	学生は受講者全員による文献の読解と議論を通じて、文献検索、調査法、プレゼンテーション、討論、論文作成等の基礎的な研究技法を習得することができる。		◎	○	◎	○	◎	
演習J7	選択 (指定科目B1)	3	学生は受講者全員による文献の読解と議論を通じて、文献検索、調査法、プレゼンテーション、討論、論文作成等の基礎的な研究技法を習得することができる。		◎	○	◎	○	◎	
演習J8	選択 (指定科目B1)	3	学生は受講者全員による文献の読解と議論を通じて、文献検索、調査法、プレゼンテーション、討論、論文作成等の基礎的な研究技法を習得することができる。		◎	○	◎	○	◎	
演習J9	選択 (指定科目B1)	3	学生は受講者全員による文献の読解と議論を通じて、文献検索、調査法、プレゼンテーション、討論、論文作成等の基礎的な研究技法を習得することができる。		◎	○	◎	○	◎	

文学部教育学科(初等教育専攻課程)のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)							
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	①キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること	②テキストを正確に読解できること	③テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること	④複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力を持つこと	⑤他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと	⑥教育学および教育事象について広く深い理解を持ち、研究方法と発想が身につくこと	⑦小学校教員としての知識と技能を身につけること	
演習J10	選択 (指定科目B1)	3	学生は受講者全員による文献の読解と議論を通じて、文献検索、調査法、プレゼンテーション、討論、論文作成等の基礎的な研究技法を習得することができる。		◎	○	◎	○	◎		
演習J11	選択 (指定科目B1)	3	学生は受講者全員による文献の読解と議論を通じて、文献検索、調査法、プレゼンテーション、討論、論文作成等の基礎的な研究技法を習得することができる。		◎	○	◎	○	◎		
演習J12	選択 (指定科目B1)	3	学生は受講者全員による文献の読解と議論を通じて、文献検索、調査法、プレゼンテーション、討論、論文作成等の基礎的な研究技法を習得することができる。		◎	○	◎	○	◎		
演習J13	選択 (指定科目B1)	3	学生は受講者全員による文献の読解と議論を通じて、文献検索、調査法、プレゼンテーション、討論、論文作成等の基礎的な研究技法を習得することができる。		◎	○	◎	○	◎		
演習J14	選択 (指定科目B1)	3	学生は受講者全員による文献の読解と議論を通じて、文献検索、調査法、プレゼンテーション、討論、論文作成等の基礎的な研究技法を習得することができる。		◎	○	◎	○	◎		
演習J15	選択 (指定科目B1)	3	学生は受講者全員による文献の読解と議論を通じて、文献検索、調査法、プレゼンテーション、討論、論文作成等の基礎的な研究技法を習得することができる。		◎	○	◎	○	◎		
演習J16	選択 (指定科目B1)	3	学生は受講者全員による文献の読解と議論を通じて、文献検索、調査法、プレゼンテーション、討論、論文作成等の基礎的な研究技法を習得することができる。		◎	○	◎	○	◎		
演習J17	選択 (指定科目B1)	3	学生は受講者全員による文献の読解と議論を通じて、文献検索、調査法、プレゼンテーション、討論、論文作成等の基礎的な研究技法を習得することができる。		◎	○	◎	○	◎		
演習J18	選択 (指定科目B1)	3	学生は受講者全員による文献の読解と議論を通じて、文献検索、調査法、プレゼンテーション、討論、論文作成等の基礎的な研究技法を習得することができる。		◎	○	◎	○	◎		
教育調査実習1	選択 (指定科目B2)	3・4	学生は社会学的な教育調査研究の理論と技法を身につけることができる。				△	◎	◎		
教育調査実習2	選択 (指定科目B2)	3・4	学生は社会学的な教育調査研究の理論と技法を身につけることができる。				△	◎	◎		
教育調査実習3	選択 (指定科目B2)	3・4	学生は心理学的な教育調査研究の理論と技法を身につけることができる。				△	◎	◎		
教育調査実習4	選択 (指定科目B2)	3・4	学生は心理学的な教育調査研究の理論と技法を身につけることができる。				△	◎	◎		
教育実践研究	選択 (指定科目B2)	2~4	学生は自ら研究テーマを設定し、自主的な研究活動に取り組み、研究論文をまとめることができる。			○	△	◎	◎		
国語科教育論	選択 (指定科目C1)	2~4	学生は国語科の授業について、その目標・内容・方法・評価の学習をし、さらに児童の人間形成における本教科の役割について理解を深めることができる。						○	◎	
社会科教育論	選択 (指定科目C1)	2~4	学生は社会科の授業について、その目標・内容・方法・評価の学習をし、さらに児童の人間形成における本教科の役割について理解を深めることができる。						○	◎	
算数科教育論	選択 (指定科目C1)	2~4	学生は算数科の授業について、その目標・内容・方法・評価の学習をし、さらに児童の人間形成における本教科の役割について理解を深めることができる。						○	◎	
理科教育論	選択 (指定科目C1)	2~4	学生は理科の授業について、その目標・内容・方法・評価の学習をし、さらに児童の人間形成における本教科の役割について理解を深めることができる。						○	◎	
生活科教育論	選択 (指定科目C1)	2~4	学生は生活科の授業について、その目標・内容・方法・評価の学習をし、さらに児童の人間形成における本教科の役割について理解を深めることができる。						○	◎	
家庭科教育論	選択 (指定科目C1)	2~4	学生は家庭科の授業について、その目標・内容・方法・評価の学習をし、さらに児童の人間形成における本教科の役割について理解を深めることができる。						○	◎	
英語科教育論	選択 (指定科目C1)	2~4	学生は英語科の授業について、その目標・内容・方法・評価の学習をし、さらに児童の人間形成における本教科の役割について理解を深めることができる。						○	◎	
教育とメディア	選択 (指定科目C2)	2~4	学生は情報教育の意義を学び、教育現場において情報活用指導するための知識と技能を身につけることができる。							△	○
カウンセリング	選択 (指定科目C2)	2~4	学生はカウンセリングの理論と方法についての理解を深め、その技法について学ぶことができる。					◎	○	○	
幼児教育学	選択 (指定科目C2)	2~4	学生は幼児教育の理論と思想を学び、幼児教育の理解を深めることができる。					○	○		
比較教育学1	選択 (指定科目C2)	2~4	学生は比較教育学の理論とその成果を学び、教育について理解を深めることができる。					○	○		
比較教育学2	選択 (指定科目C2)	2~4	学生は比較教育学の理論とその成果を学び、教育について理解を深めることができる。					○	○		
キリスト教と教育1	選択 (指定科目C2)	2~4	学生はキリスト教と教育の関係を学習することによって、宗教と社会に対する理解を深めることができる。	◎				○	○		
キリスト教と教育2	選択 (指定科目C2)	2~4	学生はキリスト教と教育の関係を学習することによって、宗教と社会に対する理解を深めることができる。	◎				○	○		
教育心理学2	選択 (指定科目C2)	2~4	学生は現代社会における多様な人々の発達と学習の過程について心理学的理解を深めることができる。					○	○		
教育社会学2	選択 (指定科目C2)	2~4	学生は「教育問題」「教師-生徒関係」「学校的知識」をめぐる諸問題について社会的視点からの理解を深めることができる。					○	○		
教育史2	選択 (指定科目C2)	2~4	学生は教育の歴史を学ぶことによって、教育についての理解を深めることができる。					○	○		

文学部教育学科(初等教育専攻課程)のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	①キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること	②テキストを正確に読解できること	③テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること	④複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力を持つこと	⑤他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと	⑥教育学および教育事象について広く深い理解を持ち、研究方法と発想が身につくこと	⑦小学校教員としての知識と技能を身につけること
教育哲学2	選択 (指定科目C2)	2～4	学生は教育哲学の理論を学ぶことによって、教育について理解を深めることができる。					○	○	
社会教育・生涯学習論	選択 (指定科目C2)	2～4	学生は社会教育・生涯学習の理論と実践を学ぶことによってインフォーマル教育、成人教育についての理解を深めることができる。					○	○	
国際教育論	選択 (指定科目C2)	2～4	学生は国際教育の理論と実践について学び、教育の国際的課題についての理解を深めることができる。					○	○	
環境教育論	選択 (指定科目C2)	2～4	学生は環境教育の歴史、意義、内容と方法、国際的動向、課題などについて総合的に理解を深めることができる。					○	○	
教育と表現	選択 (指定科目C2)	2～4	学生は教育の現場で求められる表現力について、実際に自身の身体を動かすことを通じて、理解を深めることができる。					◎	○	△
教育臨床論	選択 (指定科目C2)	2～4	学生は教育臨床論の理論と実践を学び、教育と人についての理解を深めることができる。					◎	○	
教育臨床心理学	選択 (指定科目C2)	2～4	学生は教育臨床心理学の理論と実践を学び、教育と人についての理解を深めることができる。					◎	○	
発達心理学	選択 (指定科目C2)	2～4	学生は発達心理学の基本的な視座とその課題について具体的事例に依拠しながら理解を深めることができる。					◎	○	
子ども文化論	選択 (指定科目C2)	2～4	学生は子ども文化の学習を通して、子どもという存在の理解を深めることができる。					○	○	
哲学的人間学	選択 (指定科目C2)	2～4	学生は哲学の立場から人間学を学ぶことを通じて、人間理解を深めることができるようになる。				○	○	○	
現代教育の諸問題1	選択 (指定科目C2)	2～4	学生は教育にかかわる今日的諸問題を批判的に検討することを通して教育についての理解を深めることができる。					○	○	
現代教育の諸問題2	選択 (指定科目C2)	2～4	学生は教育にかかわる今日的諸問題を批判的に検討することを通して教育についての理解を深めることができる。					○	○	
人間と哲学1	選択 (指定科目C2)	1～4	西洋哲学に即して哲学的思考について理解し説明することができる。				◎	○		
人間と哲学2	選択 (指定科目C2)	1～4	東洋哲学に即して哲学的思考について理解し説明することができる。				◎	○		
卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	選択 (指定科目C2)	4	学生は教育を主題とした問題関心のもとで専門性の高い卒業論文の制作に取り組むことができる。		◎	◎	◎	○	◎	○
世界史	専門関連科目	1～4	学科固有の学問領域を「世界史」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○		
日本史	専門関連科目	1～4	学科固有の学問領域を「日本史」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○		
社会学	専門関連科目	1～4	学科固有の学問領域を「社会学」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○		
経済学	専門関連科目	1～4	学科固有の学問領域を「経済学」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○		
法律学	専門関連科目	1～4	学科固有の学問領域を「法律学」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○		
政治学	専門関連科目	1～4	学科固有の学問領域を「政治学」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○		